

## FANG+の見通しについて

短期的な下落圧力には警戒必要だが、構造的な魅力は不変

2020年9月14日

### お伝えしたいポイント

- ・ 上昇からの反落。利益確定圧力への警戒必要だが、構造的な魅力は不変
- ・ FANG+の魅力。時代を開拓するプラットフォーマーへの投資

## 上昇からの反落。利益確定圧力への警戒必要だが、構造的な魅力は不変

### 9月に入って大きく調整

FANG\*+構成銘柄は9月に入ってから、やや大きく調整しています。

1. それまでの上昇が大きかった反動
2. 決算発表を終えポジティブ材料が一巡した。
3. 長期金利がやや上昇し、株式市場全般的に調整ムードが漂った。

などが主な要因だと考えています。

特にテスラに関しては、主要指数への採用期待などもあり、上昇が続いていましたが、実際は採用されなかったこともあり、急落しています。

### 短期的には警戒必要だが、構造的な魅力は不変

FANG+指数は年初来で62%上昇しています。これはS&P500を大きく上回っており、IT（情報技術）セクター指数もアウトパフォームしています。そのため、米中関係や大統領選を控えた不透明感などを考えると、株価調整の入りやすい局面にあると言えます。

一方、FANG+指数構成銘柄の魅力は高く、業績面の裏付けも伴っています。短期的には売り圧力が強まる可能性はあっても、引き続き魅力的な投資対象であると考えています。その点について、以下説明させていただきます。

\*FANG : Facebook、Amazon、Netflix、Googleの略称

### 年初来で大きく上昇。9月は利益確定で下落

	月初来 (%)	年初来 (%)
テスラ	▲25.2	+345.5
アップル	▲13.2	+52.6
アマゾン	▲9.7	+68.6
フェイスブック	▲9.1	+29.9
エヌビディア	▲9.0	+106.8
ネットフリックス	▲9.0	+49.0
アルファベット	▲7.0	+13.2
アリババ	▲5.4	+28.1
ツイッター	▲4.1	+21.5
百度 (バイドゥ)	▲3.2	▲4.6
<b>FANG+指数</b>	<b>▲11.1</b>	<b>+62.3</b>
<b>S&amp;P500指数</b>	<b>▲4.6</b>	<b>+3.4</b>

2020年9月11日：米国時間

(出所) ブルームバーグ

### FANG+指数は大きく上昇



## FANG+の魅力。時代を開拓するプラットフォーマーへの投資

### ■ 次の新しい「何か」を開拓する企業力に期待。プラットフォーマーとしての魅力

FANG+構成銘柄の多くは、「新しい分野」を切り開いてきたリーディングカンパニーです。また、そうして築いた「強い顧客基盤」を武器に次々と新しい分野を開拓している「プラットフォーマー」でもあります。

現在の株価は「次の何か」への期待をある程度見込んでいる水準にあるといえます。しかし、今期、来期業績の予想成長率を見ると、FANG+構成銘柄の高成長が際立っています。コロナ禍においても「高い成長」を記録できる実績を伴い、かつ、常に新しい分野を開拓できる企業力を有したプラットフォーマーへの投資は、今後も人々を魅了し続けると考えています。

### ■ 新生活様式「ニューノーマル」が追い風に

新型コロナによる新生活様式への変革は、ネット企業に追い風です。これまでの「常識」が変わる時は新しいビジネスが生まれる時といえます。

アマゾンの顧客層は、コロナ禍で拡大しており、これまでネット販売に抵抗のあった人たちの取り込みに成功しています。広がった顧客層を深掘りし、さらなるビジネス展開につなげることが期待されています。

フェイスブックは、ユーザーの好みに応じた広告を表示する技術に優れた企業ですが、最近はネット販売に進出しています。お店や個人がフェイスブックや傘下のインスタグラムを使って商品

を紹介し、ユーザーが画像上の商品をクリックすることで購入できるサービスです。世界27億人の月間アクティブユーザーと900万社超のアクティブな広告主を結びつけ、事業拡大が期待されます。

技術面では、5G（次世代）通信網の整備、AI（人工知能）によるデータ分析の進化、半導体技術の発展なども、プラットフォーマーの事業発展への追い風になると考えられています。

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

### ■ 高い業績（予想EPS）成長を誇るFANG+銘柄

	2020年度 予想 (%)	2021年度 予想 (%)
アップル	+8.6	+19.0
アマゾン・ドット・コム	+106.2	+26.7
アリババ	+40.8	+24.5
百度（バイドゥ）	+42.3	+19.3
フェイスブック	+10.0	+23.6
アルファベット	+5.8	+27.7
ネットフリックス	+61.0	+42.9
エヌビディア	+97.7	+22.5
テスラ	黒転	+62.6
ツイッター	赤転	黒転
<b>FANG+指数</b>	<b>+51.2</b>	<b>+39.1</b>
<b>S&amp;P500 指数</b>	<b>▲14.0</b>	<b>+26.7</b>

※9月14日時点

(出所) ブルームバーグ

### ■ 顧客基盤をベースにしたビジネスモデル (イメージ図)



(出所) 大和アセットマネジメント作成